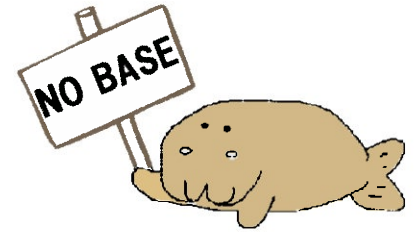


ジュゴンの海を埋め立てることに反対します



内閣総理大臣 安倍 晋三殿

2014年1月稲嶺名護市長の再選、11月翁長(オナガ)沖縄県知事の当選で、「辺野古の海に基地はいらない」との声がますます大きくなってきています。辺野古・大浦湾沿岸は生物多様性に富み、ジュゴンの餌場となる海草藻場が広く分布しています。国際自然保護連合(IUCN)は基地建設による沖縄ジュゴンへの影響を回避あるいは緩和するため、基地建設を行わない選択肢の考慮とジュゴン保護計画の作成を求める決議を三度上げています。また、2014年にはラムサール条約事務局や国内の19学術団体が辺野古・大浦湾の環境保全を求める声明を政府関係者に出しました。2020年に向けて愛知ターゲット11で「海洋保護区の拡大」も叫ばれています。沖縄ジュゴン保護は世界の流れです。

日本政府(当時・小泉内閣)は「沖縄のジュゴンの保護に関する質問主意書」(岩佐恵美参議院議員)への答弁書(2004年7月13日第33号)で、沖縄ジュゴンは種の保存法の国内希少野生動物種に選定されうる種に該当することを認めています。環境省も国民世論に押されて、種の保存法の国内希少野生動物種にジュゴンを指定する検討を始めました。そこで、以下のことを要請します。

(要請項目)

1. 名護市辺野古・大浦湾沿岸海域、ジュゴンのすむ海の埋め立てを断念すること。
2. 沖縄ジュゴンをただちに種の保存法の国内希少野生動植物種に選定すること。



取扱い団体()

お名前	住所
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県

呼びかけ団体:ジュゴン保護キャンペーンセンター(SDCC)、ジュゴン保護基金委員会

賛同団体:沖縄・生物多様性市民ネットワーク

署名集約先:ジュゴン保護キャンペーンセンター

署名集約予定日 2015年11月15日

〒534-0025 大阪府大阪市都島区片町2丁目9番21号 野口ビル302号
(署名を他の目的には使用しません)

